

やさしくかしくたくましく

野沢小学校 学校だより No.6

令和6年10月30日

学校長 石川政好

TEL 0267-62-0109

体育祭ありがとうございました

本年度は、日頃の授業を通した学びの成果を発表する場として運動会を位置づけ、名称についても子どもたちが会の主旨を考え「体育祭」と変更しました。種目については、育みたい資質・能力やつきたい力、学習指導要領に沿った内容かどうか等、職員で夏休み前から検討し、学年職員の願いや子どもたちの声を踏まえて決定しました。

当日は、子どもたち一人一人が、それぞれのねらいや目標に向かって取り組む姿がありました。また、5・6年有志で集まった応援団の子たちが、大きな声でずっと応援をし、体育祭を盛り上げていた姿も印象的でした。子どもたちにとって大きな学びと成長ある充実した体育祭となりました。温かなご声援とご協力ありがとうございました。



いなごとり集会で姉妹学級と交流

10月3日（木）の1・2時間目に児童会の自然委員会が中心となって活動する「いなごとり集会」を行いました。野沢小学校の伝統的な行事の一つで、子どもたちは姉妹学級ペアでイナゴを捕まえに地域の田んぼへ出かけていきました。イナゴをつかまえていた3年生が、「私は、つかまえることができなかったけど、4年生のお兄さんがとってくれた！」と嬉しそうに言っていました。隣にいたペアの4年生は「今年から上級生だからね！」と、3年生が喜ぶ姿を見てとても嬉しそうな顔をしていました。

年々採れるイナゴの量が減ってきており（昨年は約2kg、今年は約0.5kg）、本年度はJA佐久浅間の方々のご協力のもと、6年3組の児童が調理し、給食の時間に全校児童でおいしくいただくことにしました。地域の方のご協力があってこそできる行事であり、イナゴを捕まえるということだけでなく、姉妹学級で交流を深めるという目的もあるため、これからもこの伝統行事を大切にしていきたいです。



家庭・地域・外部と連携した多様な学び

社会のつながりの中で学ぶことで、子どもたちは自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感を持つためにも、「社会に開かれた教育課程」の実現が求められています。野沢小学校では、ありがたいことに家庭・地域や外部の方々が教育活動にたくさん協力してくださっています。学校外部の方々と連携した活動は、子どもにとって大きな学びとなり、普段の授業とは違った多様な学びにつながっています。PTA主催の野沢フェスティバルについても、子どもたちが毎年楽しみにしており、出店・出場する子どもたちは当日に向けて準備を進めています。



【本年度の活動紹介】

朝の読み聞かせ、ぞっこん！さく市への参加、野沢商店街とのコラボ、地域猫を救おう、佐久市自然プロジェクト、アイシング講習、麦づくり、パラスポーツ（銀メダリスト宮島選手と車椅子バスケット）など

合唱部 Nコン2024全国大会出場&こどもコンクール東日本大会出場決定！

7月31日のNコン東信ブロック大会（金賞）からスタートし、8月10日の長野県大会（金賞）、9月8日の関東甲信越ブロック大会（金賞）を経て、10月13日の全国大会に2年連続で出場しました。関東甲信越大会では、各都県から選ばれた14校の中から、野沢小（長野県）・平山小（東京都）・白金小（東京都）の3校が金賞を受賞し、全国大会出場校に選ばれました。全国大会に出場できるのは11校のみと狭き門です。野沢小合唱部の子どもたちは、4月から練習を重ね、磨きをかけてきた課題曲と自由曲をNHKホールで披露してきました。多くのみなさまにご支援・ご声援をいただき、子どもたちを支えていただいていることに感謝いたします。

また、12月21日には東京のパルテノン多摩で開催される「こどもコンクール東日本大会」にも出場が決まりました。引き続きご支援・ご声援をお願いいたします。

